

委員会だより

< 3月3日(日) 10名出席 >

- 第五地区福音宣教委員会報告(石井)
 - ◆今年度横浜教区平和旬間(8/6~15)行事について【いずれも予定で、詳細は今後の打ち合わせの会で決められる】
 - ・日時:8月11日(日)
 - ・場所:藤沢教会または白百合学園
 - ・担当:藤沢教会と片瀬教会
 - ・行事内容:ミサとイベント
- 一粒会報告(竹内)
 - ◆藤沢教会教育部主催のレクリエーションへの参加呼びかけがあった。詳細は決まり次第報告するが、予定は
 - ・日時:4月28日(日)
 - ・場所:聖園女学院グラウンド
 - ・内容:ミサと親睦交流会
 - ◆今年も“祈りのリレー”を実施。5月、藤沢教会からスタート。
 - ◆新たな会員を募集する。ミサ中の共同祈願にも意向を盛り込む。
- 財務報告
 - ◆省略(詳細は財務委員へ)
- 復活祭前の大掃除の日程
 - ◆3月30日(土)午前10時より。
- 聖週間の行事日程は、2月度委員会決定に変更はない。
- その他の話し合い
 - ◆ミサ中の「共同祈願」について、今後はできるだけ会衆側から祈願文を読み上げるようにする。また、自由祈願も適宜受け付ける。特に青年などに積極的に参加してもらいたい。



壮年会だより

< 3月17日(日) 11名出席 >

- ◆委員会報告(3月度)
 - ◆主たる議題(教会報を参照)
 - ◆第5地区福音宣教委員会報告
 - ◆一粒会報告
 - ◆教会運営基準の見直し検討委員
 - ◆聖週間行事について
- ◆議案
 - ◆4月の聖書朗読
 - 4/7 下村さん
 - 4/28 清水さん

- ◆教会報寄稿 竹内さん(3/24まで)
- ◆教会運営基準の見直し委員選出 東原さん、宮崎さん
- ◆大掃除 3/30(土)10:30~
- ◆その他
 - ◆春のハイキング … 4/20(土)箱根方面で計画したい。
 - ◆新老人を生きる(本) … について、内容の紹介と感想を話された。
 - ◆位田さんの入院に伴い、教会内の手伝いへの協力をお願いします。
 - ◆教会財務の検討を進める事が必要(現在は神父様からの寄付に助けられている)。

婦人会だより

< 3月17日(日) 37名出席 >

- ◆委員会報告 (委員会だより参照)
 - ◆婦人会関連事項
 - ①「教会運営基準」見直しのための婦人会代表には、阿部寿美恵、青柳恵代さんのお二人に出いただくことになりました。
 - ②不用衣料品の交換会を、4月例会の後実施します。箱を置きますので、4月21日の例会までにお持ち下さい。(食品も歓迎)
 - ③ご入院中の位田さんへ霊的花束をお届けしました。快方に向かっておられます。引き続きお祈りください。なお、ご自宅へのお問合せなどのお電話は控えていただきたいとのことです。
 - ④一粒会会費として、例年通り12000円を納入しました。
 - ⑤1月の総会で承認されました台所の調理台を新しく購入しました。(73320円)
 - ⑥その他
 - ◆子どもの信仰教育について、いろいろ話し合われました。今後要理委員さんを中心に具体的な取り組みをして欲しい等の要望が出されました。
 - ◆「フマニタス」の25周年記念事業としてのプロポリスの販売に協力してほしいとの提案があり、多数の方が協力の意向を示されたので、近いうちに申し込み用紙を貼り出します。よろしくお祈りします。
- 次回例会は、4月21日(日) 当番はD地区です。



広報 なかわだ 第279号

4月の予定

委員会	4月7日
壮年会、婦人会	4月21日
サロン	4月14,28日
レジオ	4月12,19,26日



2002年 4月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北 1丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141
平成14年 4月 7日



新たな目覚めの日

山崎 正俊



ついたり ①

この日<2月23日>には、もうひとつの意外なことが、続いてあったのです。足が不自由であったので、関口の大神座聖堂に行けなかったのが、かわりに、中和田教会からは他のかたに行っていたのですが、その感謝の御ミサを司式なさった司教の一人に、横浜教区の梅村司教様がおられたのですが、儀式後にお会いしてお話をする事ができて、私のことも申しあげたら、濱尾大神様は昨年うちに、ローマのほうにお帰りになっており、濱尾大神様からのお電話をお受けして、感激したことを報告したことに、お会いできなかった神父たちに次々と電話なさったことを話して、近況をたしかめておられたと、そのことを知っておられたそうでした。このようなことは、私にとっては驚くべきことでした。忙しい、しかも地位のあるおかたが、私のようなロクでもない下っ端のモウロク神父のことを思い出して、その声を聞こうなどとなさるとは、普通のことでは、考えられない御配慮だと胸打たれたこと、それほど重要なことでもないのに、わずかな時間を利用して、これほどのことをしてくださるとは考えられないことだったので。

片瀬のほうでの集会で、そこでは、御自分のことを、そのお考えのことを含めてお話しなされたのですが、そのテープをおこしたものを読ませていただきながら、たいへんな重要な責任を果たしておられることに就いてのことは、何も云えず、ただ、有難うございますと繰り返すだけで、私のボケ振りも相当なものだなど、反省しているだけ……。

ついたり ②

聖ヨゼフ・カラサンス神父の名は、マリアの娘エスコラピウス修道女会の創立者の一人、聖パウラ・モンタル修女の御生涯には、忘れることの出来ない名です。この名は、その記録の至るところに、大切なものとして出てくるからです。その列聖の感謝のミサに、出席できなかったことは、心残りのことです。その記念のメダイと記録と聖画とは、私にとってのたいせつな宝物です。イエズスさまへの信仰の正しい守りかたの道を示されるキッカケだからです。

イエズスさまの跡を歩みやすくしていただけているのは、アブラハムを信仰のゆえに義人であるとの宣言をしてくださった、そうです、「異邦人への使徒」となった、あの、聖パウロと。たしかに祈りを共にする、愛に生きるマコトの道を教えてくださった、そうです、あの、瞳を開かせてくださった、「女性への使徒」であった、この、聖パウラさんです。他にも多くの先輩がおられますのに、それは、今、特に、ここに名をあげることはありません。これは失礼には当りません。私の記憶をこえて、数えきれません。あの人たちが自身さえ、その名を聖人名簿に記されたいばかりに、あのようなことをなされたわけではないからです。

(2002. 2. 27)

ミサ 当番表 (2002年 4、5月)

月/日	主 日	朗 読、奉 納	オルガン	月/日	主 日	朗 読、奉 納	オルガン
4/7	復活節第二主日	壮年会	岩 淵	5/5	復活節第六主日	壮年会	森 田
4/14	復活節第三主日	青年会	森 田	5/12	主の昇天	青年会	美 底
4/21	復活節第四主日	婦人会D地区	美 底	5/19	聖霊降臨の主日	婦人会E地区	岩 淵
4/28	復活節第五主日	壮年会	岩 淵	5/26	三位一体の主日	壮年会	森 田

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏: Tel. 802-6258)迄お申し出下さい。



一粒会・召命などについて考える

竹内 広治

壮年会例会において、一粒会小教区委員の改選について話し合いが行なわれた結果、私がお引き受けすることに成りました。次期委員に相応しい方々も多くお見受けしたのですが、常々からご多忙であることを伺っておりましたので、この私でよろしければと申し出たところ、格別のご承認を戴きました。

臆面もなくシャシャリ出てきた態ですが、さりとてこのお仕事について特別な抱負とか、妙案妙薬を抱えている訳ではありません。年金暮らしなので時間に制約があまり無い、つまり暇だと言うわけです。

体調も今のところ安定して治まってはいるものの、いつ崩壊があっても不思議ではない年齢だから、教会でのお務めをつづけることも永くはないものと自覚はしています。だから今のうち働いておきたい、働かせて戴くなかで、教会に密着した行動を通して今までの疎遠と無関心を償いたいのです。

横浜教区一粒会に於ける小教区委員の業務の手引きを読みますと、(会員の精神的ならびに物質的一粒を結集して、横浜教区関係の司祭の召命とその成聖に寄与することを目的として活動する…(会則3条)とあり具体的な活動としては、(小教区(教会)において会員の募集、会費の徴収、献金の収納及び召命促進運動の推進…(会則13条))以上がお仕事の内容です。すでに教会報「なかわだ」で紹介されたお二人と一緒に、ご苦労の多かった先輩方の道筋をたどりたどり歩みたいと思っております。

とは申すものの、このお役目を如何に果たし、如何に処すべきか? さあさあ、どうする、どうすると迫られては返答に窮してしまいます。自らの性格をそれなりに分析致しますと、どうやら謹厳実直居士タイプとはほど遠い騒乱タイプなので、旗振り音頭とり、アジテーターなどが役割かなと思ひますし、その辺りを心得ながら業務に対してのスタイルやスタンスをあれこれ思案を重ねております。

いま全教区で懸念されている、司祭の高齢化、司祭召命者の減少についてその対策が急がれ求められています。一粒会もその目的である司祭召命の大切さを、信徒全体に理解浸透させる努力を積み重ねなければなりません。一粒会の活動それは基本的に個人の祈りと犠牲の上にあるもので、極めて地味な存在でありますので、これからは会員に向けて霊的な指導と励ましが、活性化に一層必要となりましょう。

家庭の少子化による司祭召命の減少。突き詰めればいつの頃からか囁かれていた慢性的にジリ貧状態を続けている、信徒と求道者の減少がその原因といわれます。地域によってそのバラツキは顕著であります。特に青少年層の姿がチラホラなのが残念でなりません。確かにこの傾向は戦後アメリカ式キリスト教ブームが立ち消えた頃から下降気味で、時代の変革の激しさ速さがそれに拍車をかけた模様です。その頃、教会にはまだまだ若い人達が元気一杯で、ごミサや日曜学校のお手伝いをしていました。活気に溢れ老若男女渾然とした優しい連帯を思い出します。

ここで私が信者に成り立ての頃、義父から聞いたちょっといい話を書きましょう。義父が若い時分に、昭和の初め、だから大分古い話です。東京の築地教会で公教青年会なるものを組織し、宣教活動をしたお仲間、武宮マテオさん(本名です)といわれる方が居られました。お名前からお察し戴けるようにご両親は信仰心厚く熱心な方たち。大勢の子宝に囲まれた幸せなお家がそこにあり、輝く光が差し込む情景を思い浮かべる処ですが、残念なことにお小さい頃お家は極端に貧乏だったそうで、輝く光どころか屋根の穴から月の光が差し込んでいたそう。ご兄弟たちは皆さん弾けるように元気で腕白揃い、とりわけ次弟の雷吾さんは並外れた腕白。兄弟暴れ暴れた家の中は台風一過の惨状そのもので、襖の枠は残れど紙は飛び、障子は棧と紙を僅かに残して面影を留める有り様。ご両親は子供の元気は神様のお恵として意に介せずの風情に、義父は呆れると同時に何か不思議な感銘を覚えた、後日述懐したことを覚えて居ります。

次は武宮家腕白 No.1 たる雷吾少年のエピソード。御多分に洩れず少年の悪戯は時と場所なぞ選ばないたび重なる悪戯にある日神父様から大目玉を頂戴。頭を垂れてしおらしくいやに神妙なのが薄気味悪い。次の日曜日ごミサが始まる。ミサ答え(侍者)は恐怖の雷吾少年です。こっぴどく叱られた腹いせに少年は何を企んでいるのでしょうか。水と葡萄酒の準備に入り、司祭の持つカリスに水と葡萄酒を少量それも数滴注ぐのです。ところがこの神父様は極度のアルコール過敏症、それを知りつつ少年は葡萄酒をドボドボと。悲鳴に近い制止の声も聞こえぬふりして知らぬ顔。哀れ司祭はグルグル回る意識を辛うじて保ち責任を果たしてパタンキュー。その後の顛末についてはご想像にお任せいたします。

希代の悪戯っこ雷吾少年の将来は? あれこれ注目される内、どんどん成長とげられて何と何と立派な司祭に成りました。札幌教区に雷名轟く豪傑神父。その名は武宮神父様! 腕白悪戯大迷惑の負債を自らを捧げて清算なさいました。その後の武宮家は信心篤くご安泰と伺います。義父から聞いたこの話をこの時期に思いだし感無量であります。神は偉大、その注がれる愛の目は匂い立つ花園にも、塵芥の汚れた渦のなかにでも。神秘にして絶妙な神のお計らいを固く信じ、皆様でお祈りを続けましょう。



藤沢教会主催・スポーツ大会へのお誘いについて

中和田教会 一粒会

藤沢教会から次のようなご案内がありましたので、お知らせいたします。



中和田カトリック教会
主任司祭様
教会委員長様

✠ 主の平安

「私たち藤沢教会では、こどもたちを中心に、幼児からお年寄りまで楽しく交流できるひとときを現在考えています。

当日は、野外ミサはじめ、レクリエーション的な雰囲気の中で、誰でも気軽に参加できるものを、青年会や中・高生会が主体となり準備を進めています。

(中略)

第5地区の皆様方にも、こどもたちが互いに交流出来る一つの機会となればと希望しご紹介させて戴くこととなりました。

参加される皆様方と、心の交流ができる楽しいひとときとなりますよう、お祈りとご協力をお願いいたします。

02年2月24日 藤沢カトリック教会
主任司祭 教会委員長

2月のはじめ、横浜教区一粒会の第5地区委員会が開かれ、藤沢教会の委員さんからこの大会の趣旨や内容について、提案説明がありました。

一粒会としては、その目的がこどもさんや若い人を中心とした、教会の活性化と回帰にあるとなれば、将来の司祭召命につながる好企画として歓迎し、出来る限り協力することを申し合わせました。出席委員は小教区委員会に報告し、当日、大勢の参加者を得て大成功となるようPRに努めております。

では予定されている当日のプログラムをご紹介します。

1. 日時 02年4月28日 日曜日 午前10時～午後3時
(野外ミサ … ミニ運動会 … 昼食・ピクニック気分 … 交流)

2. 場所 聖園女学院グラウンド
・ 雨天の時は、講堂使用をお願いしております・

昼食、おやつは各自でご用意下さい。

以上。